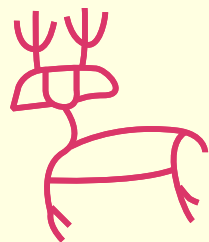


令和元年度岡山県  
獣害対策のための集落アンケート

集計結果概要



エーマック  
合同会社 AMAC

浅田正彦

# アンケートの目的



害獣の生息状況や被害状況などの  
獣害対策に関する地域特性を明らか  
かにして、今後の対策の基礎資料と  
する

# 調査方法



## 農林業センサス農業集落対象

### 1集落1枚アンケート用紙を配布・回収

#### 岡山県 獣害対策のための集落アンケート調査（令和元(2019)年度）

記入者氏名	住所 岡山県	市・町・村
-------	--------	-------

記入例は別紙にあります

(住所などの情報は地図の作製のために記入して頂いています。お名前を含めて、目的外に使用することはありません)

#### 集落での対策について

集落ぐるみでの対策（捕獲や防護柵設置）

→  している

対策内容（両方の対策をされている場合は、両方ともチェックしてください。）

- 防護柵設置
  - ↳ 内容  集落柵（集落を囲う柵）
  - 個別柵（個人の柵）
- 捕獲

→ している場合の効果

- 被害は減り、効果があった
- 被害は変わらない
- わからない

→  していない

理由

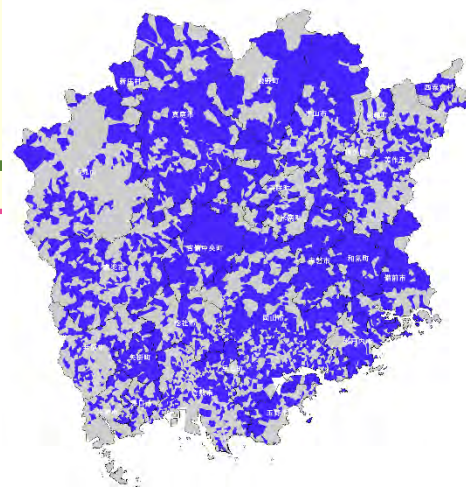
- 被害がない
- 個人で実施しているから
- 人手不足
- 高齢化
- 狩猟者がいない
- その他（自由記述）

裏面にも質問があります

対象動物	集落での目撃回数	動物の増減
<b>イノシシ</b>	<input type="checkbox"/> 森にいます <input type="checkbox"/> 季節的にみかけるときがある <input type="checkbox"/> 通年、週1回程度 <input type="checkbox"/> 通年、週2～3回程度 <input type="checkbox"/> 通年、ほぼ毎日 <input type="checkbox"/> 1頭はいる <input type="checkbox"/> ウリボウ（子連れ）がいる <input type="checkbox"/> いない（→右は記入不要）	※昨年との比較 <input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減った <input type="checkbox"/> わからない
<b>ニホンジカ</b>	<input type="checkbox"/> 森にいます <input type="checkbox"/> 季節的にみかけるときがある <input type="checkbox"/> 通年、週1回程度 <input type="checkbox"/> 通年、週2～3回程度 <input type="checkbox"/> 通年、ほぼ毎日 <input type="checkbox"/> 角あり（オス）がいる <input type="checkbox"/> 子連れがいる <input type="checkbox"/> いない（→右は記入不要）	※昨年との比較 <input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減った <input type="checkbox"/> わからない
<b>ニホンザル</b>	<input type="checkbox"/> 森にいます <input type="checkbox"/> 季節的にみかけるときがある <input type="checkbox"/> 通年、週1回程度 <input type="checkbox"/> 通年、週2～3回程度 <input type="checkbox"/> 通年、ほぼ毎日 <input type="checkbox"/> 1～数頭の 離れザルがいる <input type="checkbox"/> 子連れがいる <input type="checkbox"/> いない（→右は記入不要）	※昨年との比較 <input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減った <input type="checkbox"/> わからない
<b>ヌートリア</b>	<input type="checkbox"/> 川にいます <input type="checkbox"/> 季節的にみかけるときがある <input type="checkbox"/> 通年、週1回程度 <input type="checkbox"/> 通年、週2～3回程度 <input type="checkbox"/> 通年、ほぼ毎日 <input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない（→右は記入不要）	※昨年との比較 <input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減った <input type="checkbox"/> わからない

年の被害	主な被害作物名	被害の動向（昨年との比較）	人的被害生活被害	実施した被害対策と効果（平成30年） 防護柵についてはこれまでに設置したものを含みます
多い 量の30%未満 【の30%以上】		<input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減った	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある 内容： <input type="text"/>	<input type="checkbox"/> 何もしなかった <input type="checkbox"/> 捕獲（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 電気柵（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 金網柵・ワイヤーメッシュ（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 耕作放棄地などの管理・誘引物除去 （→効果があった・なかった・不明）
多い 量の30%未満 【の30%以上】		<input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減った	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある 内容： <input type="text"/>	<input type="checkbox"/> 何もしなかった <input type="checkbox"/> 捕獲（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 電気柵（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 金網柵・ワイヤーメッシュ（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 耕作放棄地などの管理・誘引物除去 （→効果があった・なかった・不明）
多い 量の30%未満 【の30%以上】		<input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減った	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある 内容： <input type="text"/>	<input type="checkbox"/> 何もしなかった <input type="checkbox"/> 人による追い払い（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> モンキードッグ（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 捕獲（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 電気柵（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 金網柵・ワイヤーメッシュ（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 森林の伐採（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 誘引物除去（→効果があった・なかった・不明）
多い 量の30%未満 【の30%以上】		<input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減った	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある 内容： <input type="text"/>	<input type="checkbox"/> 何もしなかった <input type="checkbox"/> 捕獲（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 電気柵（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 金網柵・ワイヤーメッシュ（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 耕作放棄地などの管理・誘引物除去 （→効果があった・なかった・不明）

# 回収結果



## 農林業センサス

農業集落数 4,929集落

配布数 4,775集落(全市町村)

回答数 3,291集落(昨年度2,950集落)

有効回収数 3,091集落 (2,809集落)

有効回収率 64.7% (63.5%)

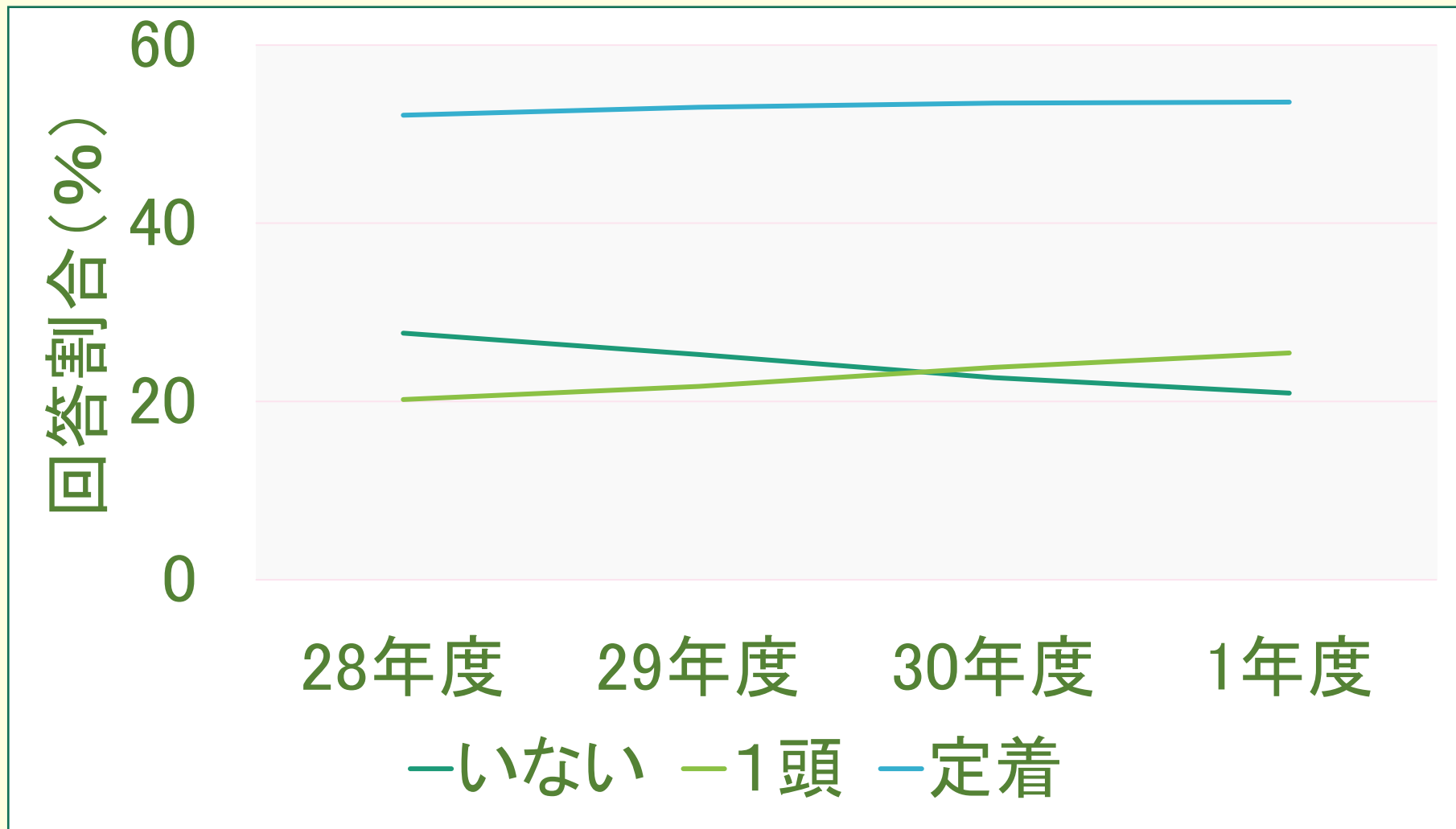


イノシシ





# イノシシの生息状況 年推移

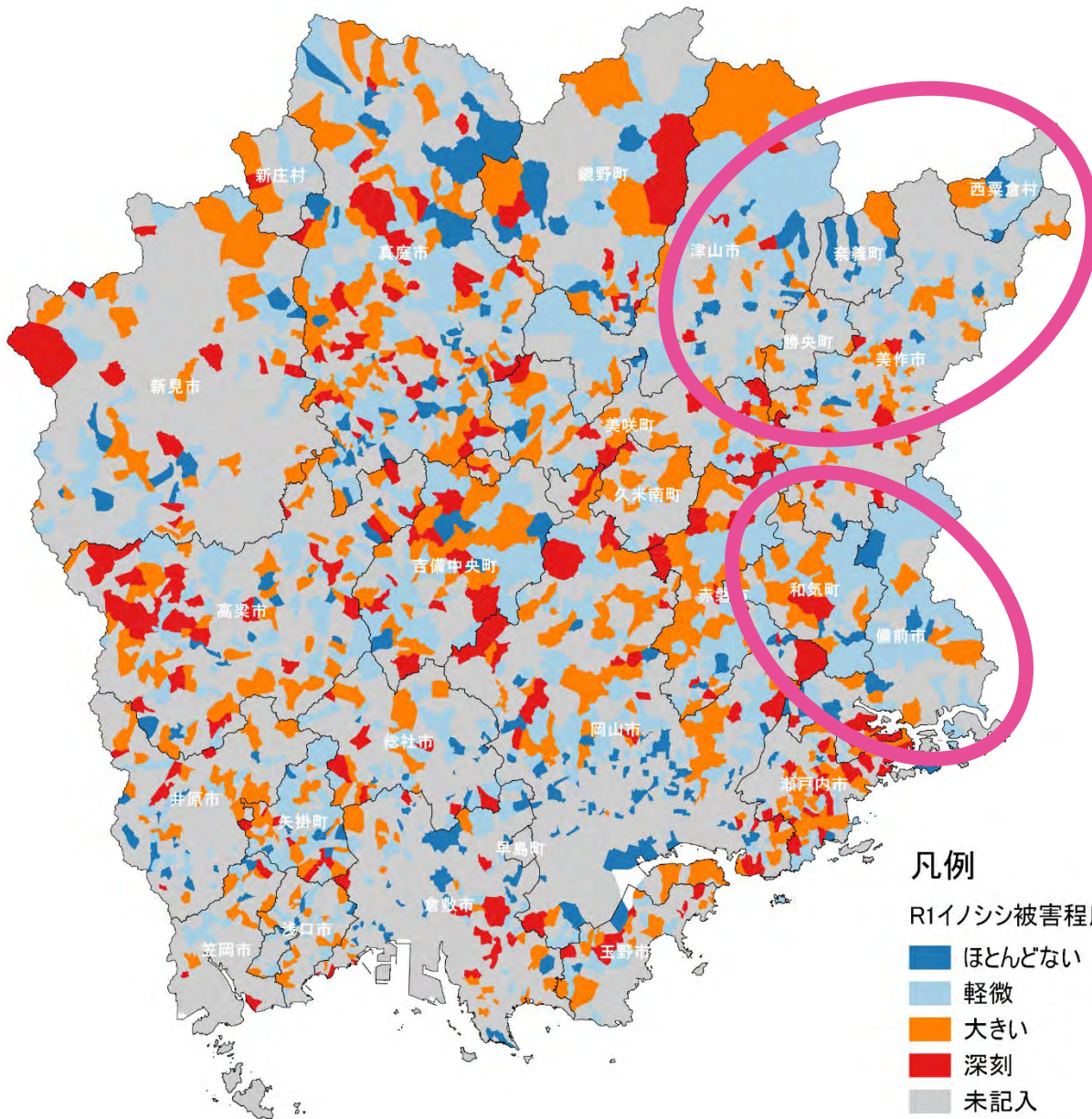


繁殖定着集落は横ばいだが、  
1頭(分散オスの可能性大)率 約年2%増加





# イノシシの被害レベル



平野部を除くほぼ  
県全域で被害発生

☑ 深刻化していない地域  
県東部の奈義町～  
美作市～西粟倉村

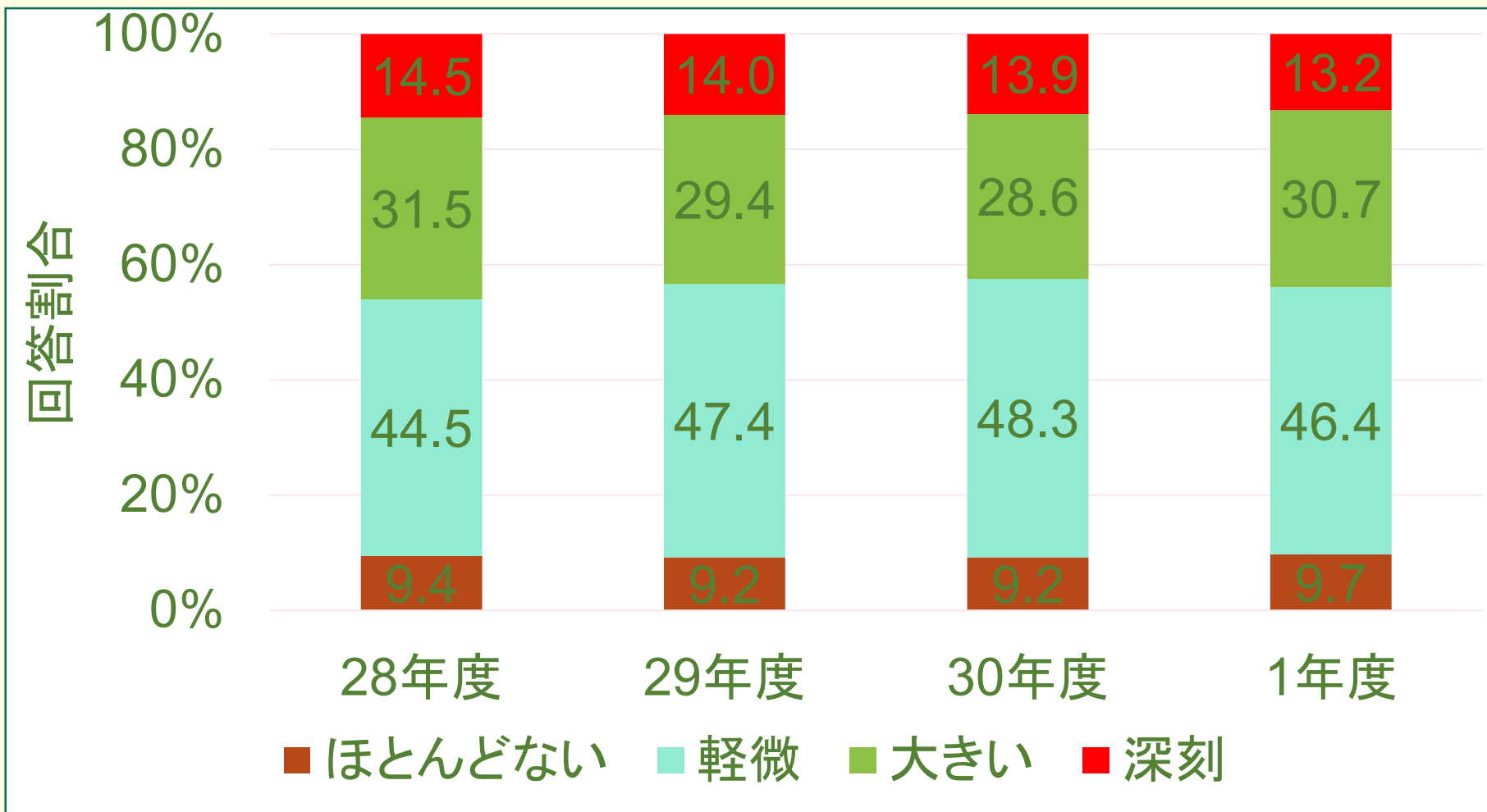
和気町～備前市

## 凡例

RIイノシシ被害程度

- ほとんどない
- 軽微
- 大きい
- 深刻
- 未記入

# イノシシの被害レベル年推移

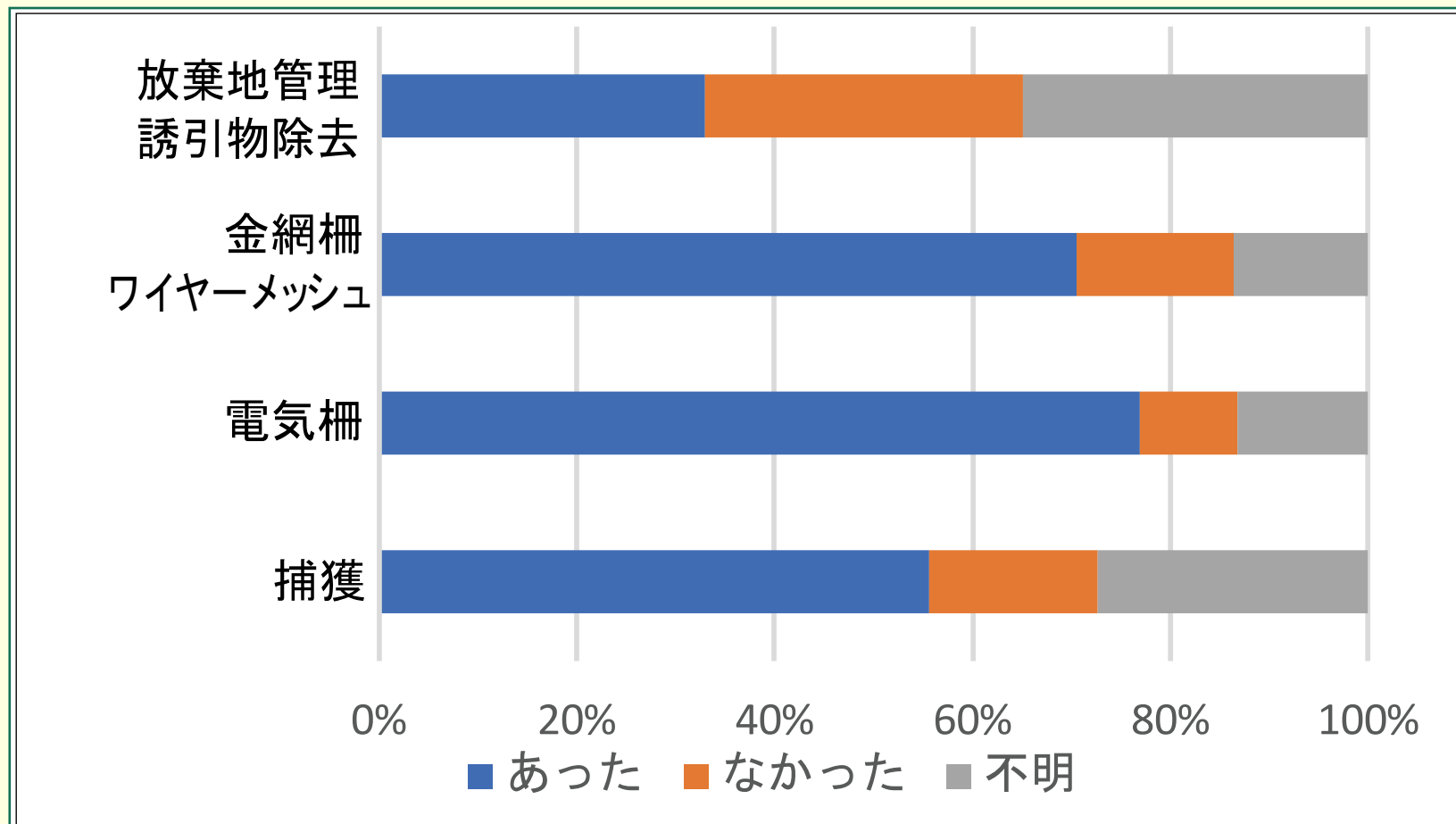


生息集落における被害レベルの年推移は、微減傾向にあるが、いまだ生息集落の4割強が甚大な被害が発生している。

# イノシシの対策効果



対策効果割合：繁殖定着している集落（「ウリボウ」の生息集落）において、対策効果に記載があった回答における効果が「あった」割合



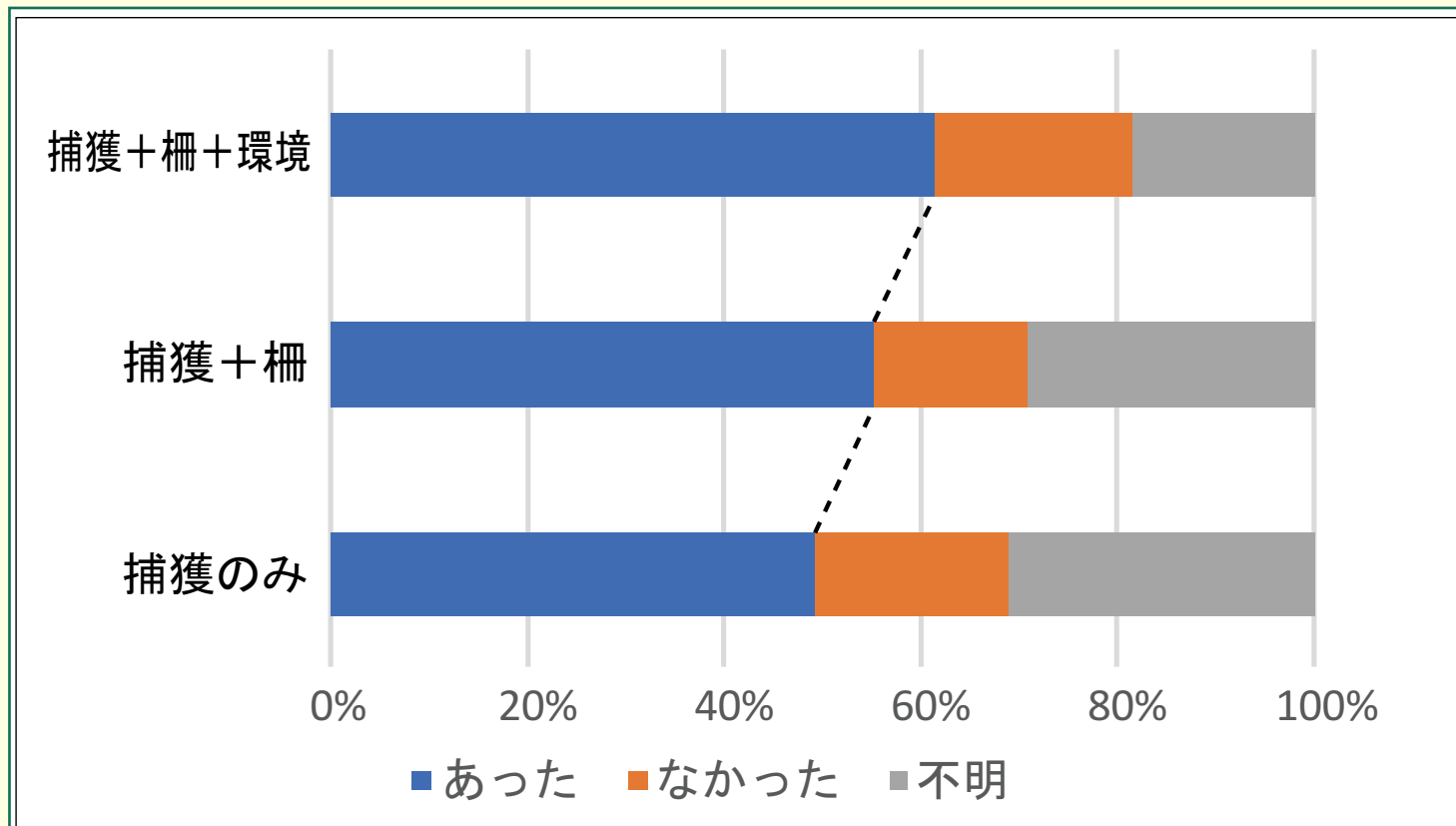
- ☑ 防護柵の効果があった回答は7割  
捕獲は半数以上



# イノシシの対策 複合効果

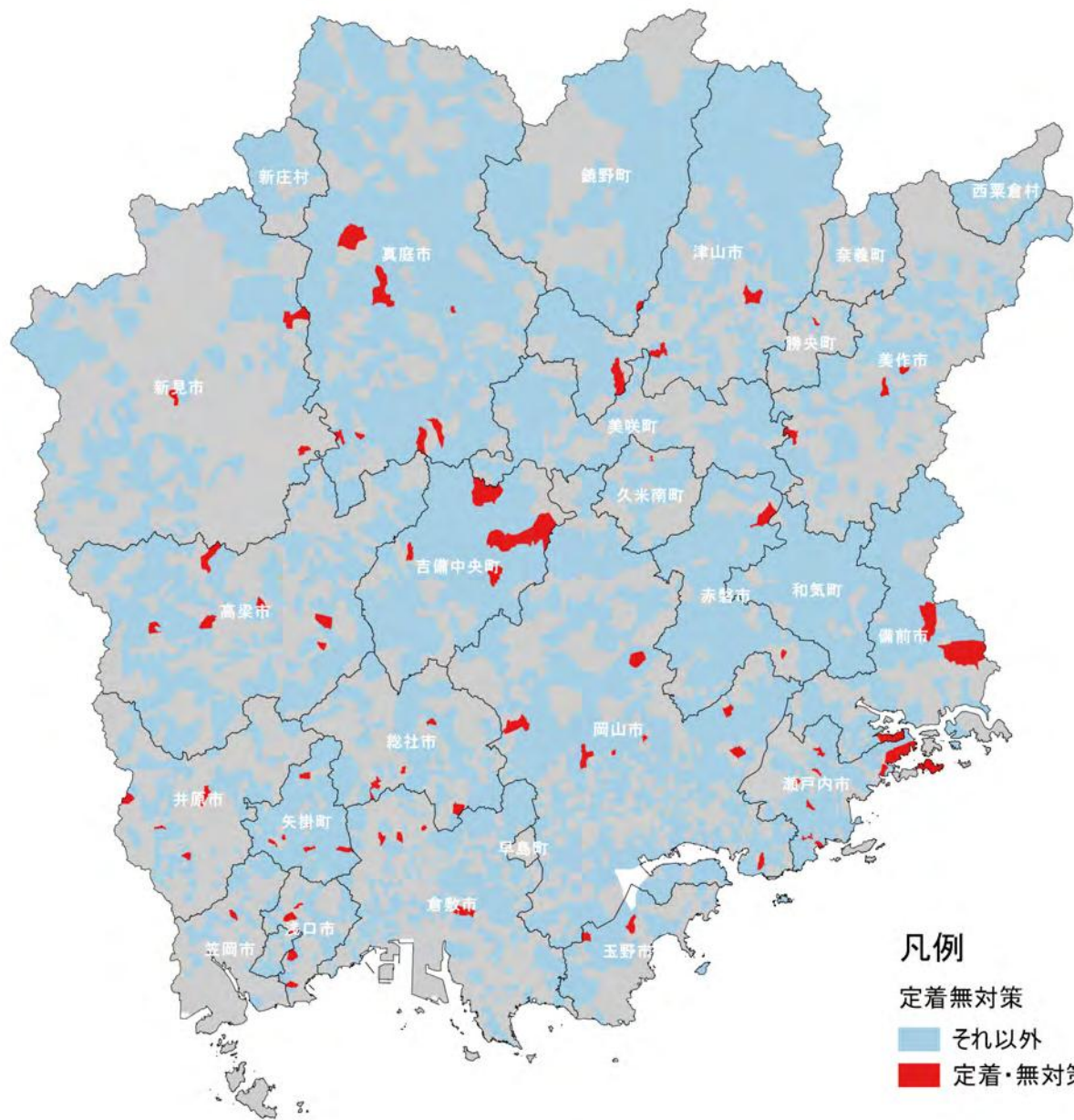


定着している集落のうち、捕獲を実施している集落で、防護柵(電気・金網)や耕作放棄地管理の実施状況別にみた捕獲効果が「ある」回答割合



✓ 捕獲効果 捕獲単独より複合対策で捕獲効果が高くなる。

# イノシシ要対策集落



定着しているにもかかわらず対策をしていない集落

定着集落の6.4%

28年度7.4%

29年度8.0%

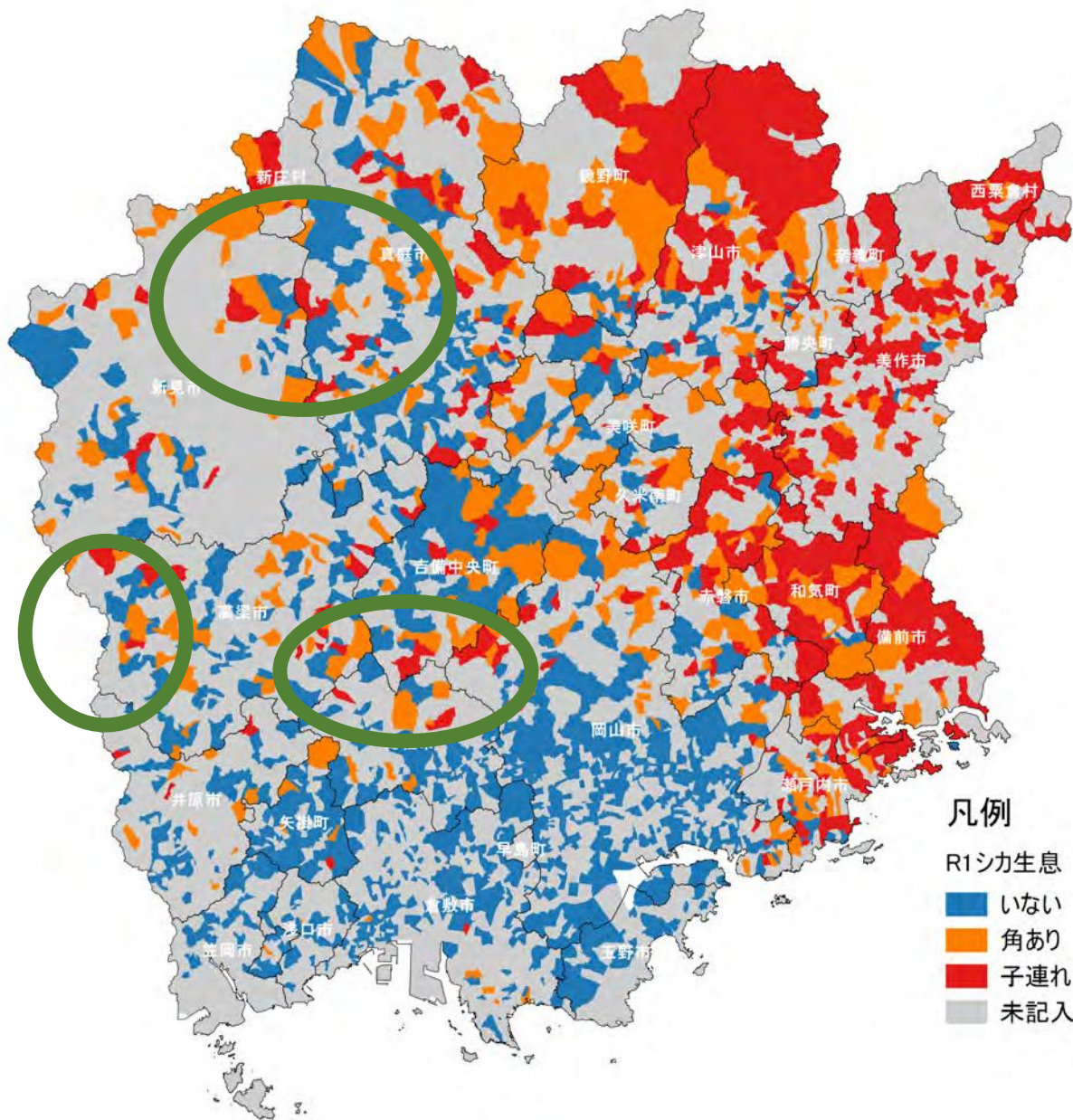
30年度7.9%

今回は減少

シカ



# シカの生息状況



☑ ♂+♀ 県全域

☑ ♀子 繁殖定着

県東部～真庭市

旭川が定着分布前線

☑ 孤立繁殖定着

真庭～新見

吉備中央～総社

～高梁東部

高梁市西部

凡例

R1シカ生息

■ いない

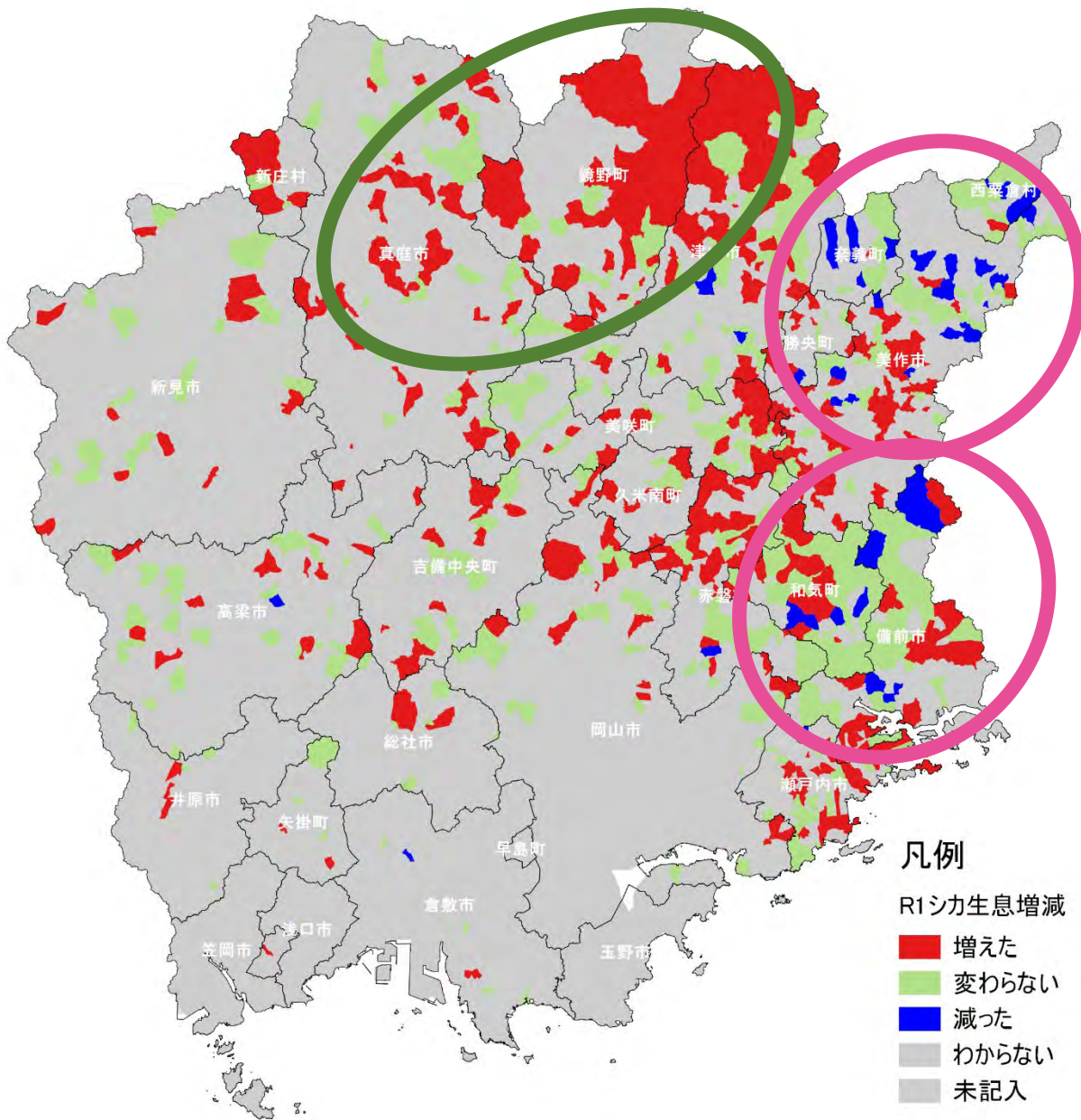
■ 角あり

■ 子連れ

■ 未記入



# シカの生息状況の増減



☑ 減少地域

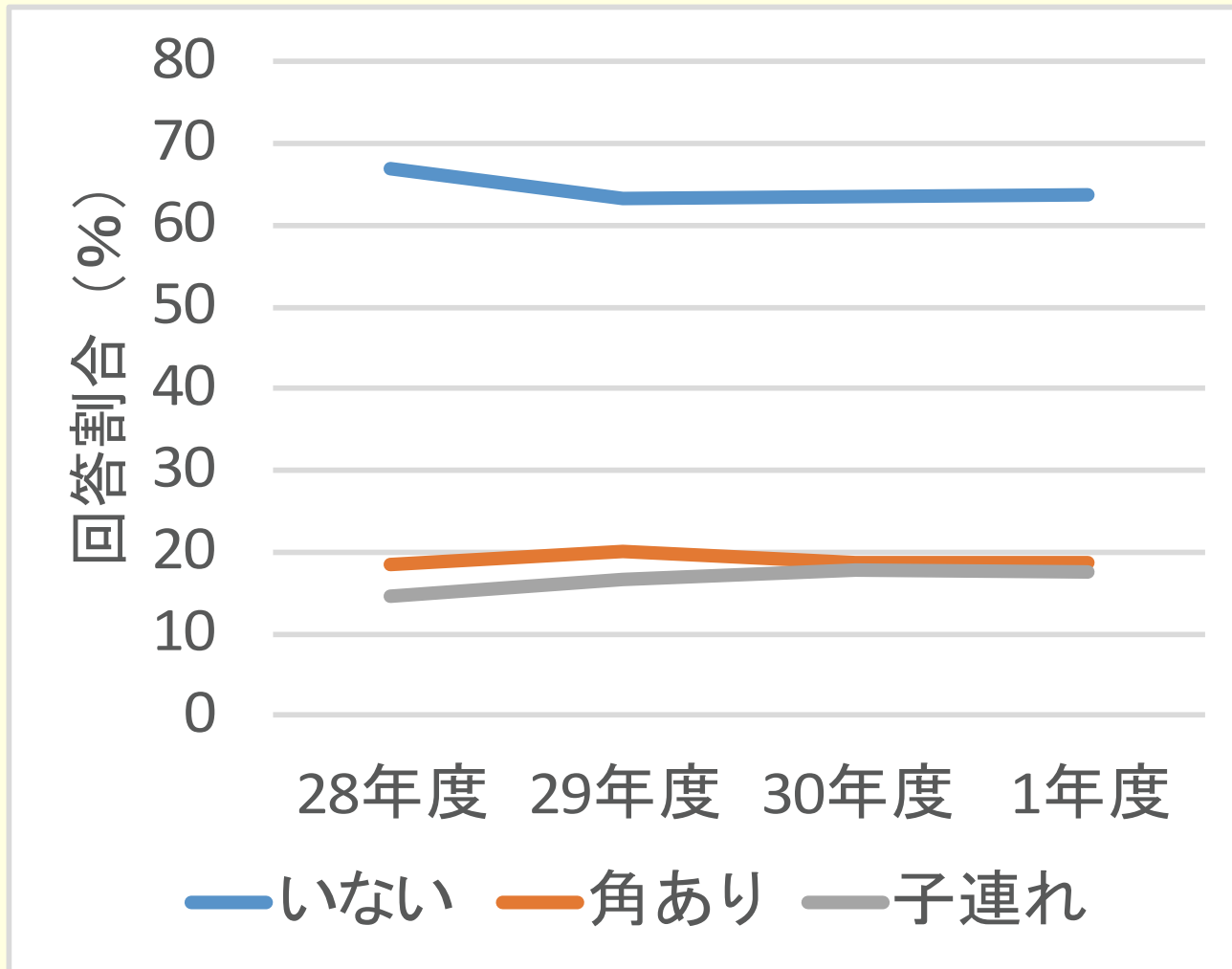
奈義～西栗倉

和気～備前

☑ 増加地域

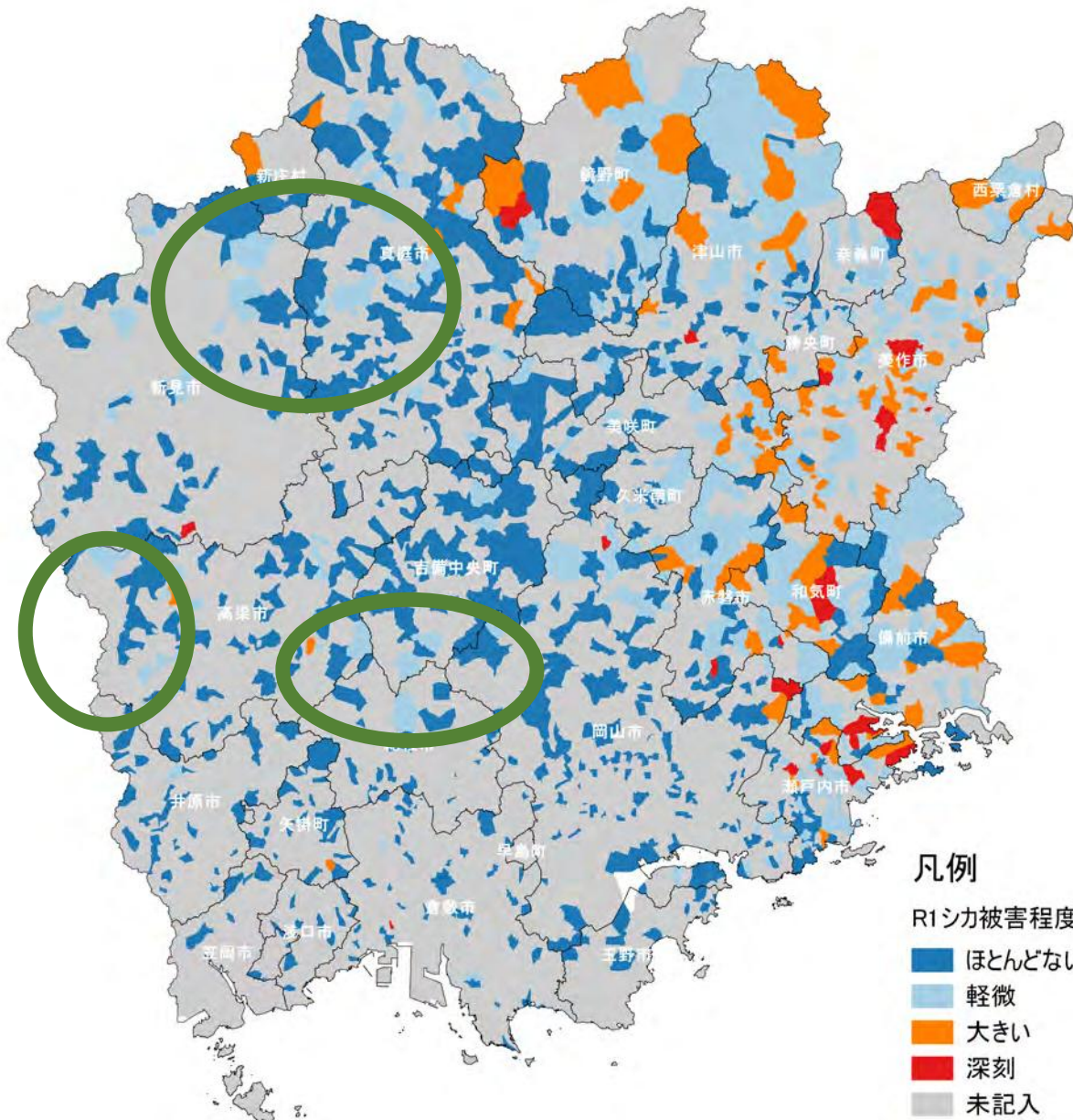
真庭～鏡野

# シカの生息状況 年推移



生息していると回答している集落の割合  
この4年間ほぼ横ばい

# シカの被害レベル



☑ 定着集落で深刻化

美作～勝央  
瀬戸内市北部  
鏡野～真庭

☑ 拡大前線では被害はまだ少ない

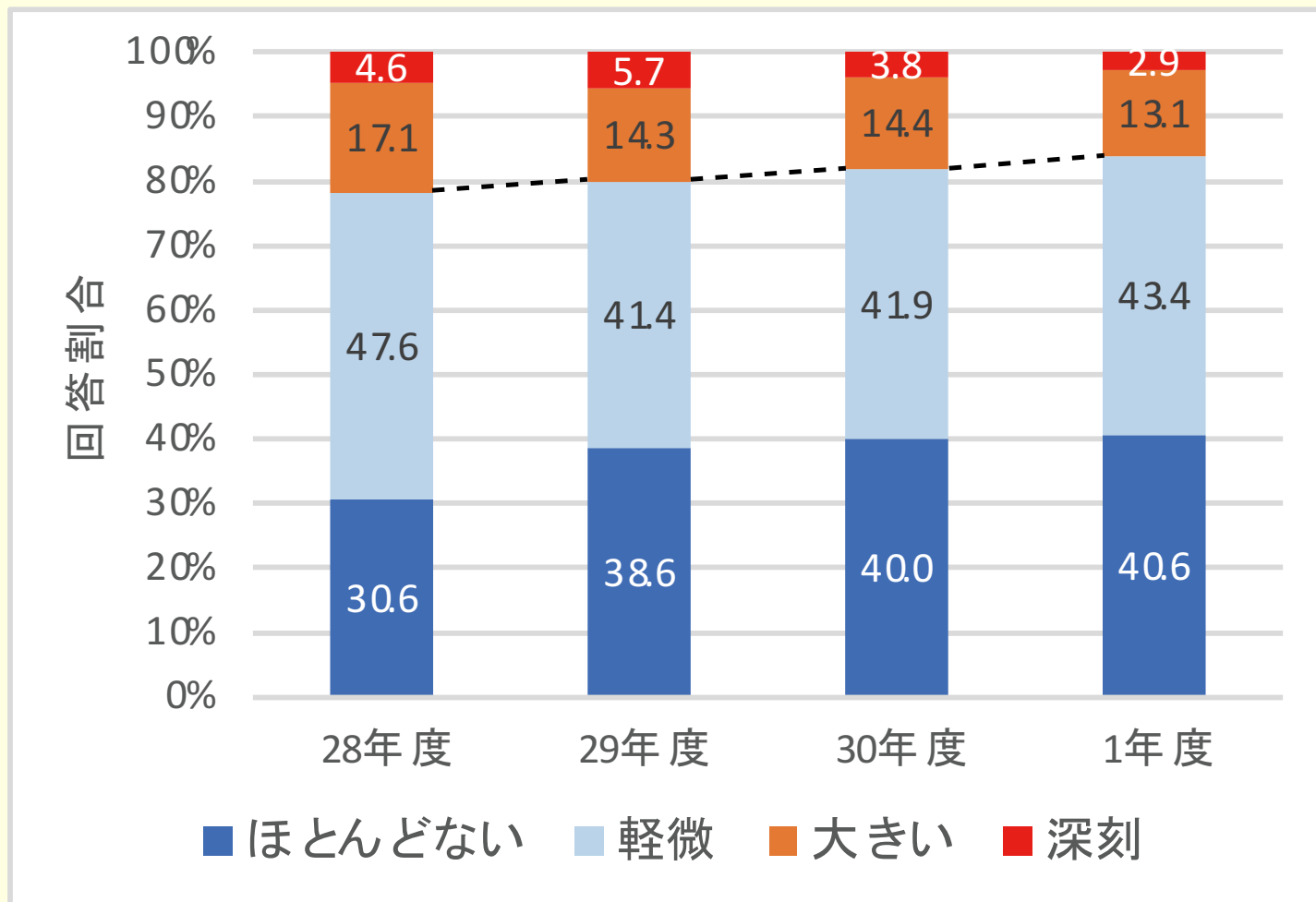
## 凡例

R1シカ被害程度

- ほとんどない
- 軽微
- 大きい
- 深刻
- 未記入



# シカの被害レベル 年推移

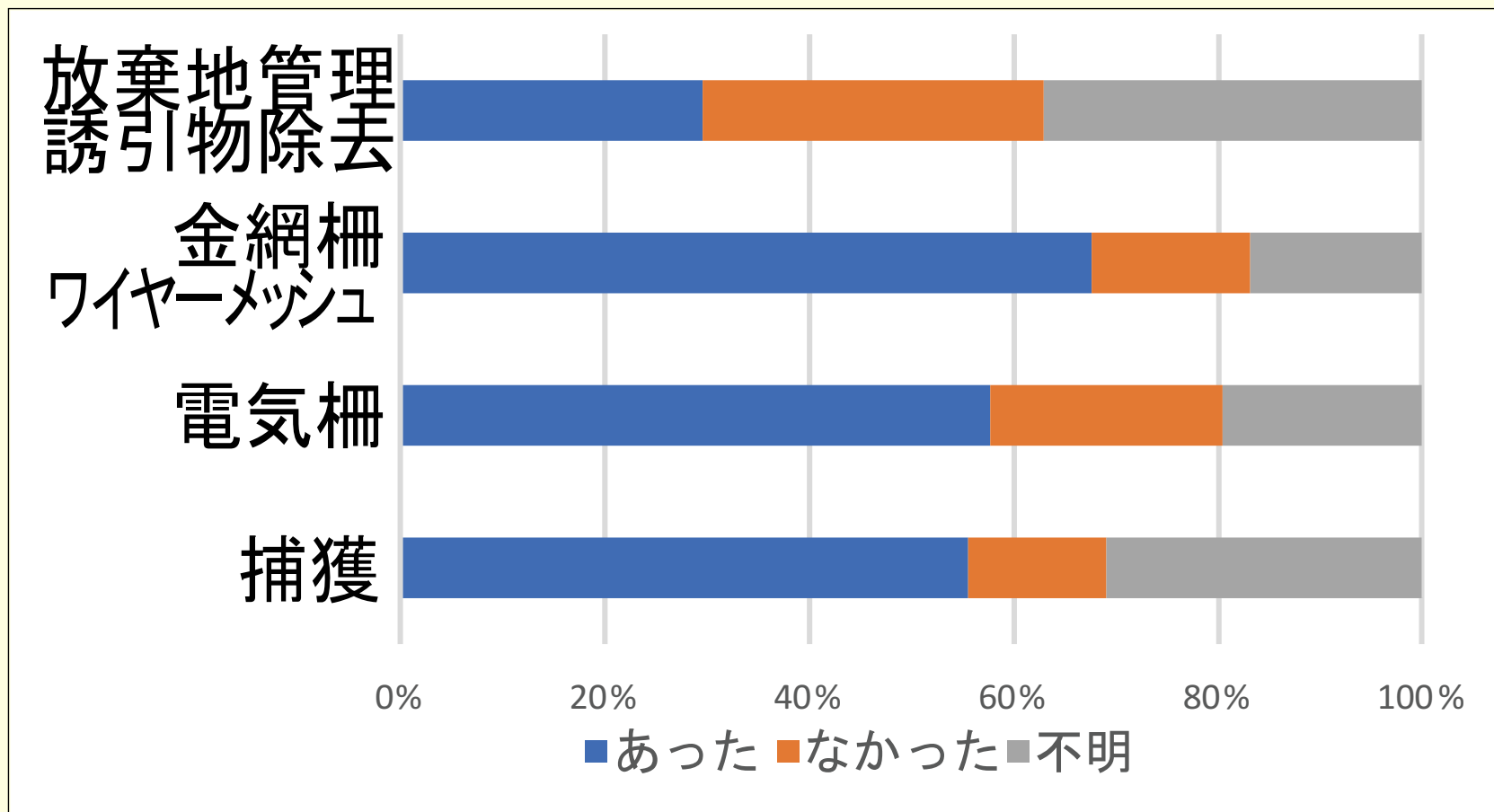


被害が「大きい」もしくは「深刻」と回答した集落の割合  
やや減少傾向にあるが、生息集落の2割弱で深刻な被害が発生

# シカの対策効果



対策効果割合：繁殖定着している集落（「子連れ」の生息集落）において、対策効果に記載があった回答における効果が「あった」割合

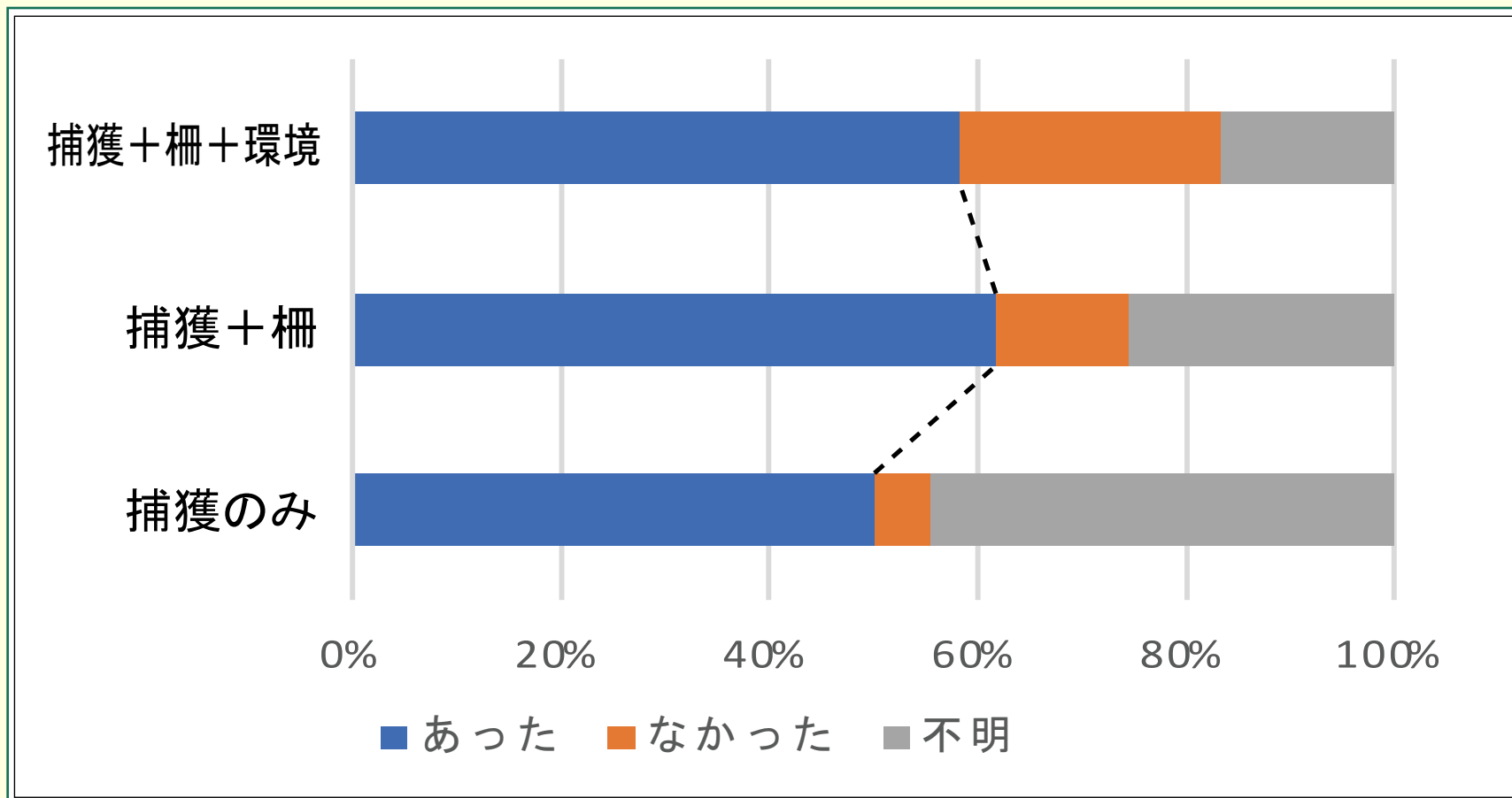


金網柵等の対策効果がもっとも高く、7割弱が有効  
捕獲効果も6割弱が有効

# シカの対策 複合効果

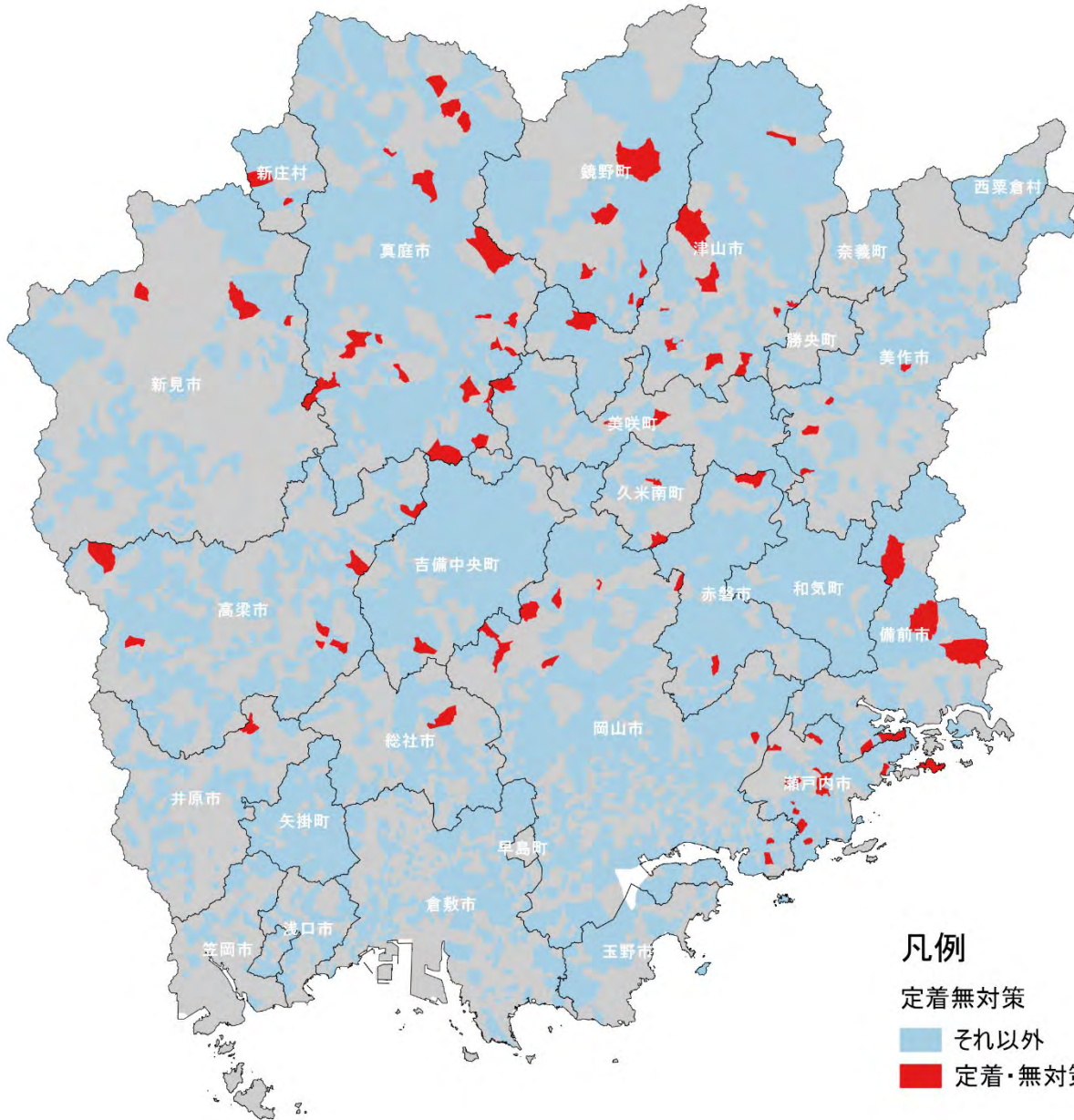


定着している集落のうち、捕獲を実施している集落で、防護柵(電気・金網)や耕作放棄地管理の実施状況別にみた捕獲効果が「ある」回答割合



☑ 捕獲効果 捕獲単独より防護柵や環境整備を複合させることで捕獲効果が高くなる

# シカ要対策集落



☑ 定着＋無対策集落  
県北部～東部

和気～備前～瀬戸内  
鏡野～真庭

## 凡例

定着無対策

■ それ以外

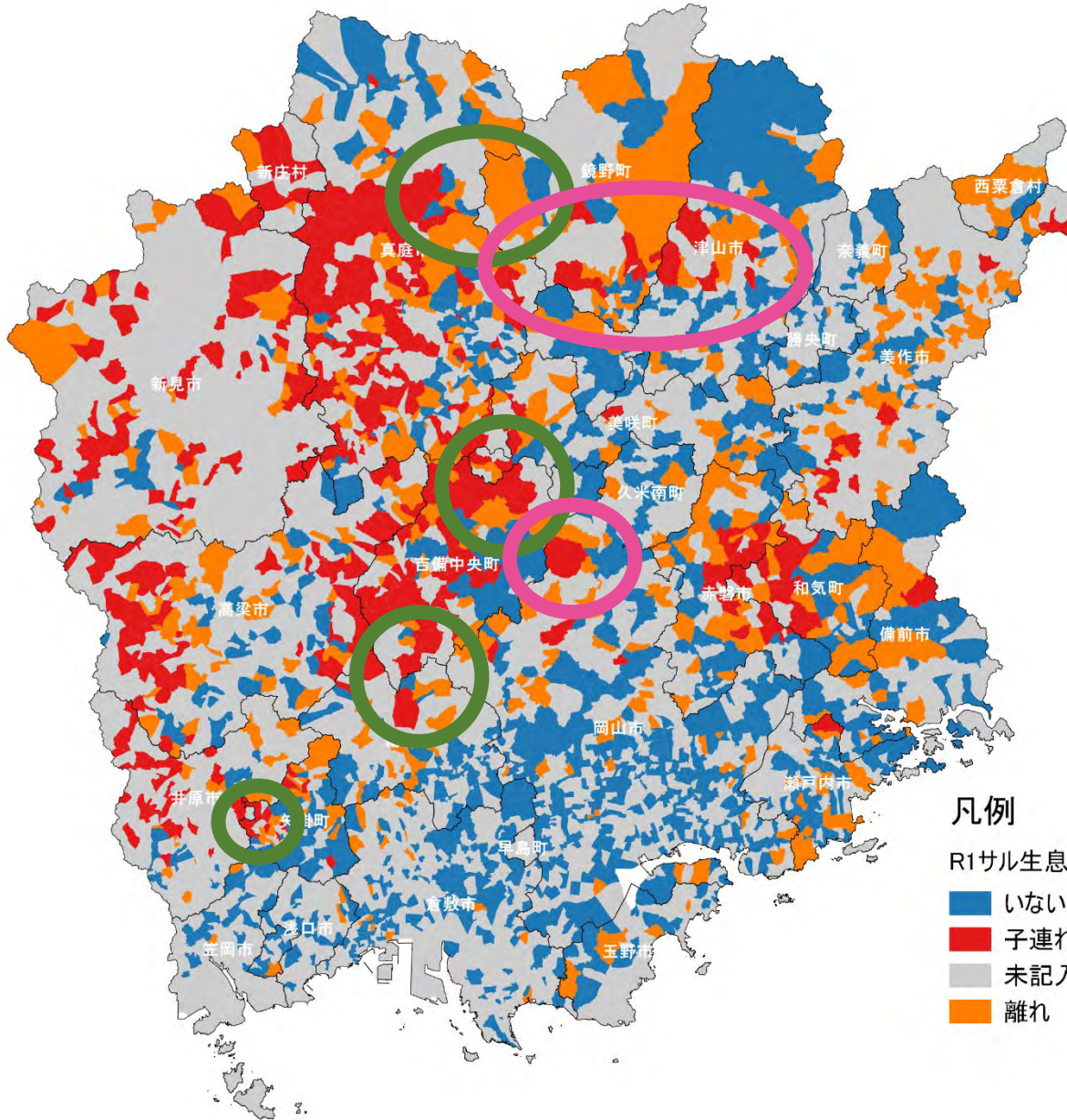
■ 定着・無対策

# サル





# サルの生息状況



☑ 群れの分布  
県西部  
和気町～赤磐

☑ ハナレザル(オスの分散个体)  
県全域出沒

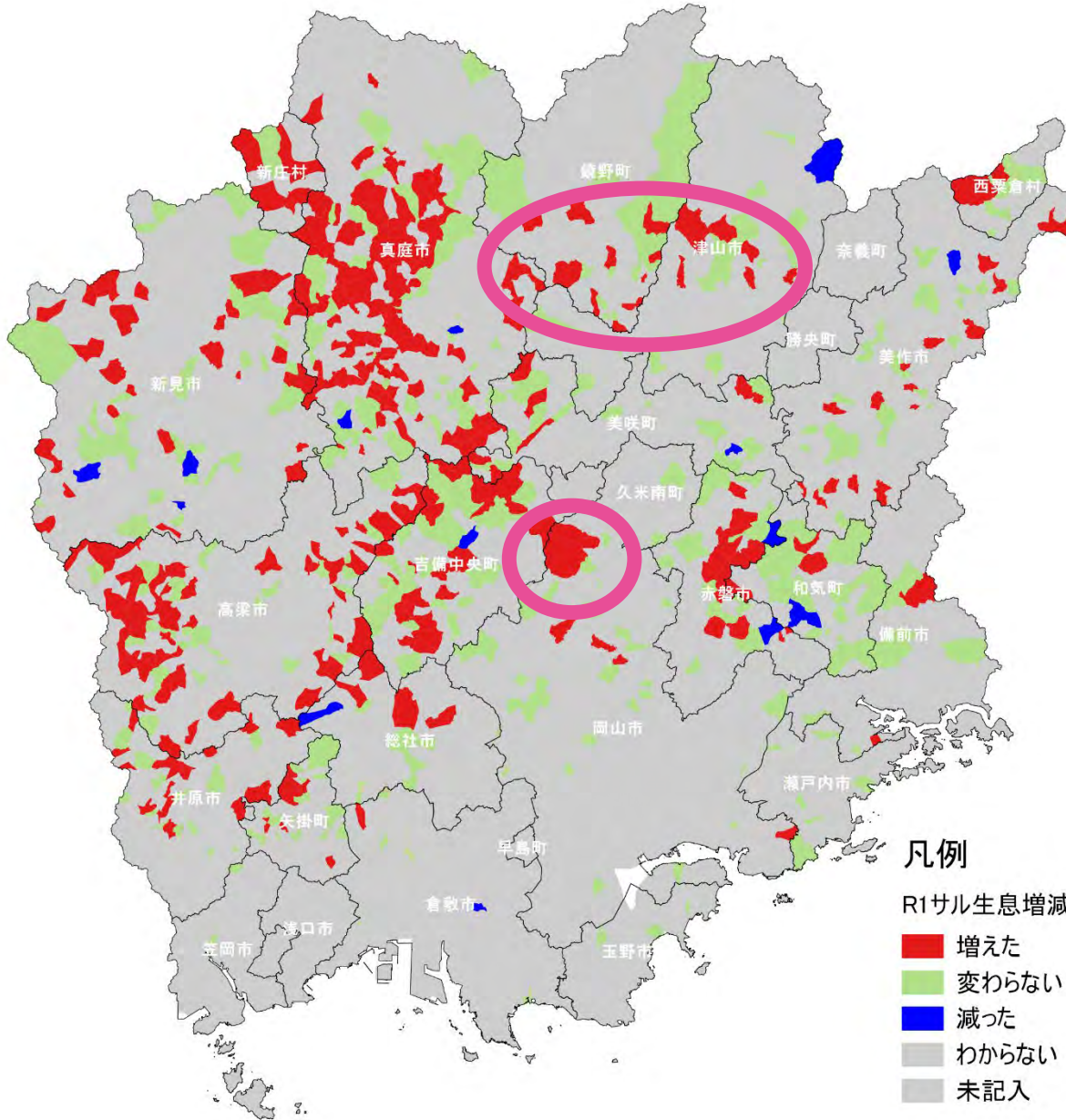
☑ 群れ出沒拡大  
鏡野  
吉備中央(北・南)  
矢掛

## 凡例

R1サル生息

- いない
- 子連れ
- 未記入
- 離れ

# サルの生息状況の増減



☑ 群れ定着地全域

「増えた」回答がほとんど

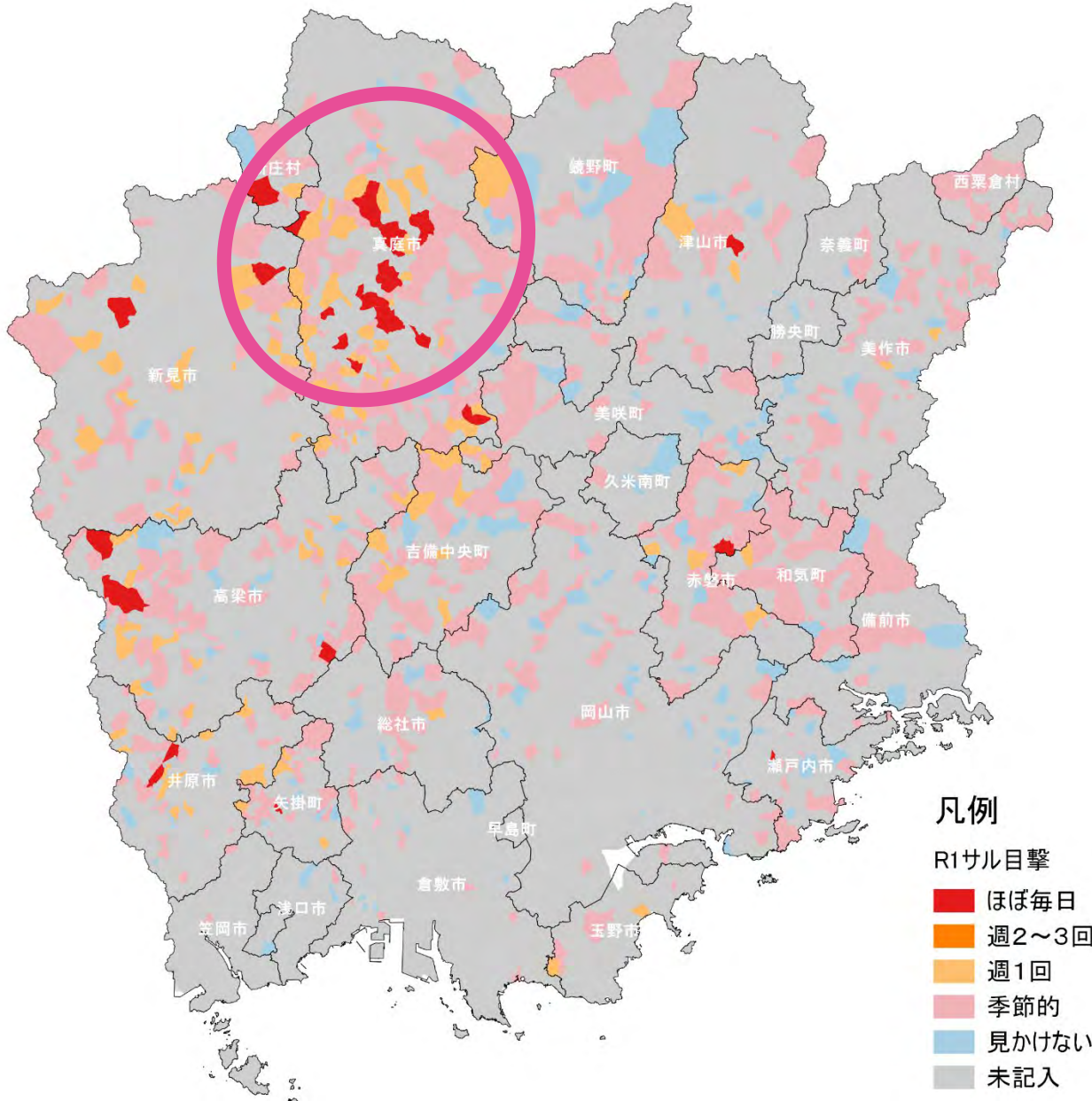
## 凡例

R1サル生息増減

- 増えた
- 変わらない
- 減った
- わからない
- 未記入



# サルを目撃



☑ 群れによる差

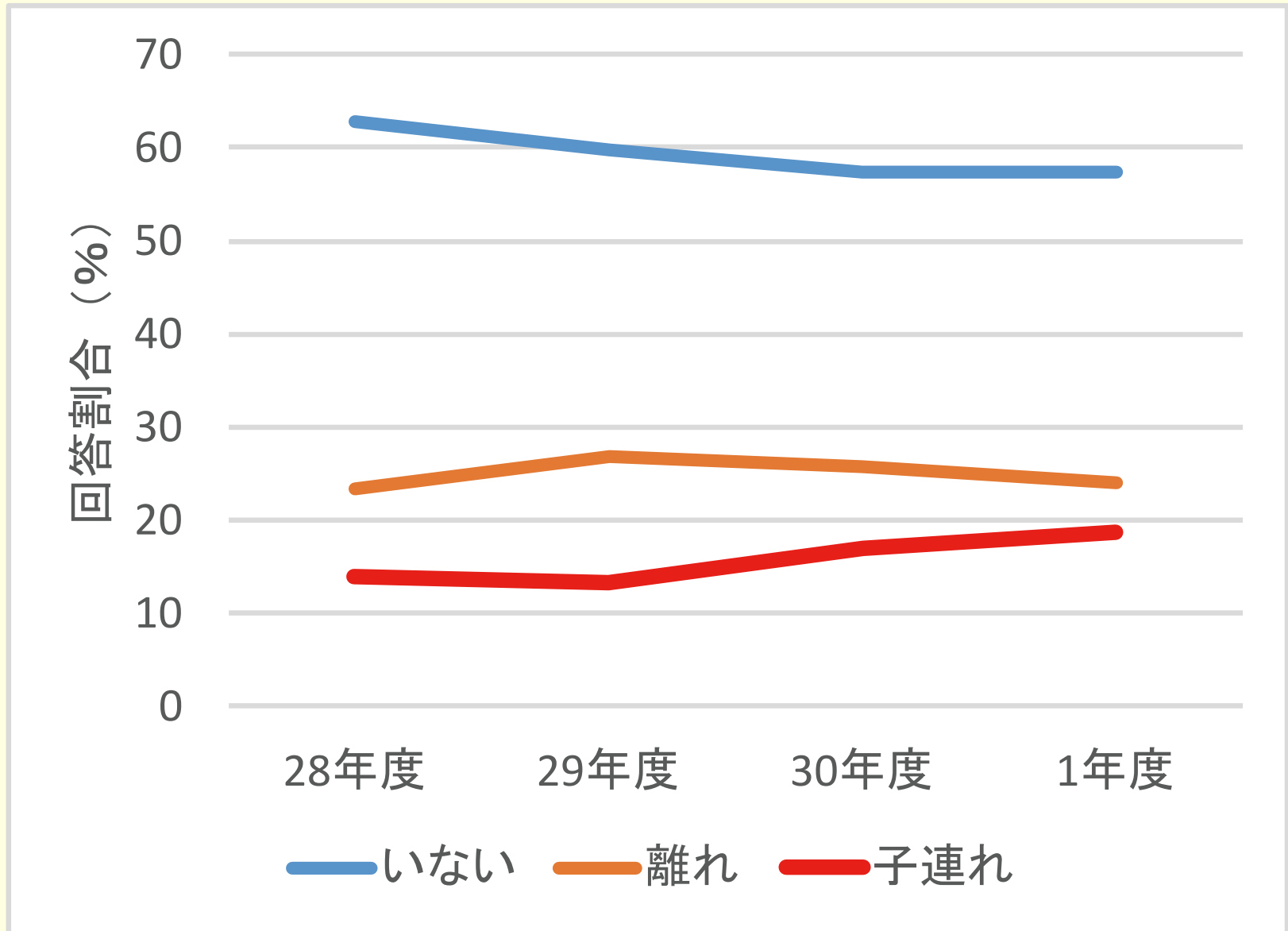
「ほぼ毎日」  
真庭市中央部

## 凡例

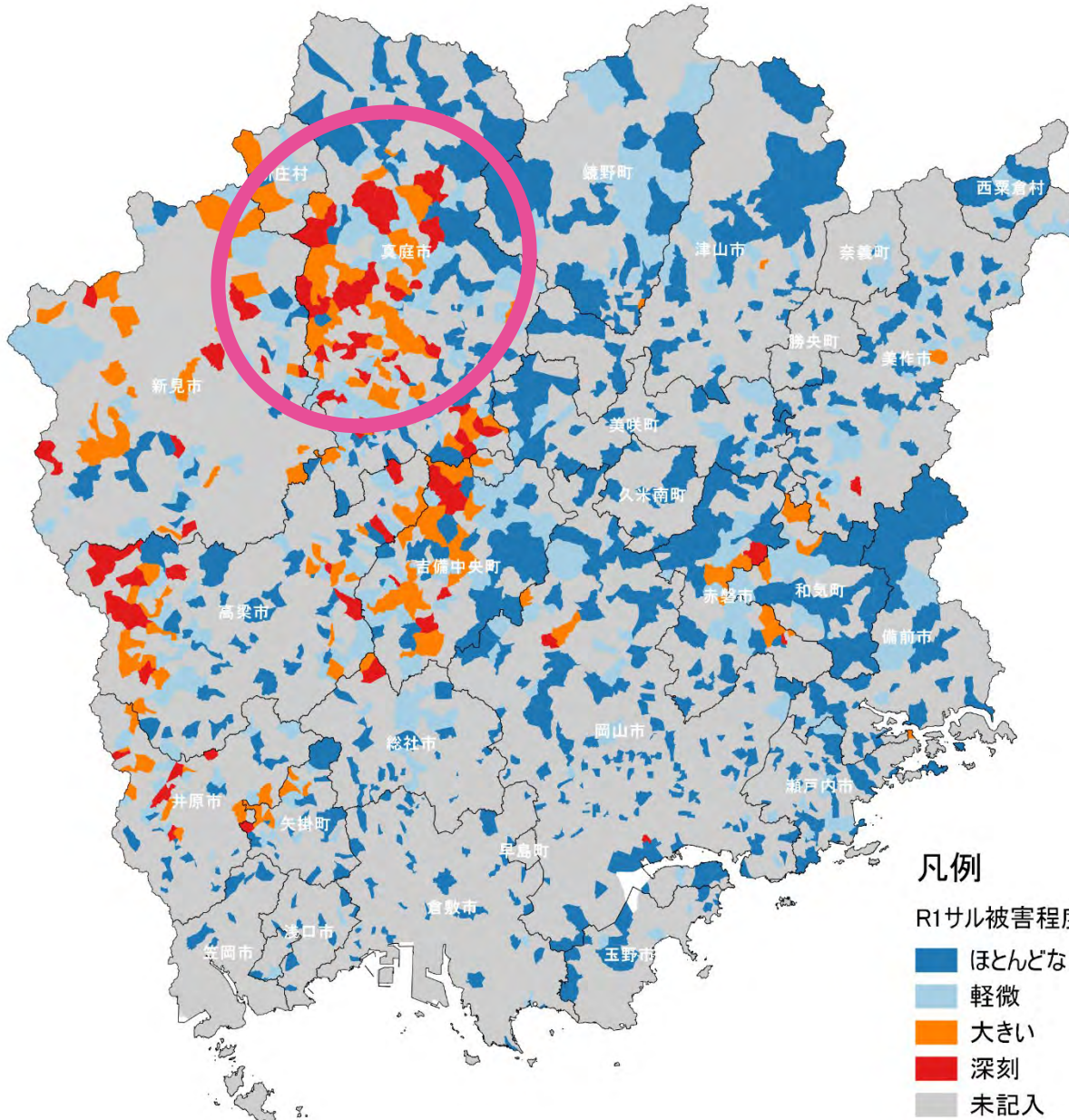
R1サル目撃

- ほぼ毎日
- 週2~3回
- 週1回
- 季節的
- 見かけない
- 未記入

# サルの生息状況 年推移



# サルの被害レベル



☑ 群れにより差

「加害群度」の違い

特に、真庭市中部で被害が深刻化している。

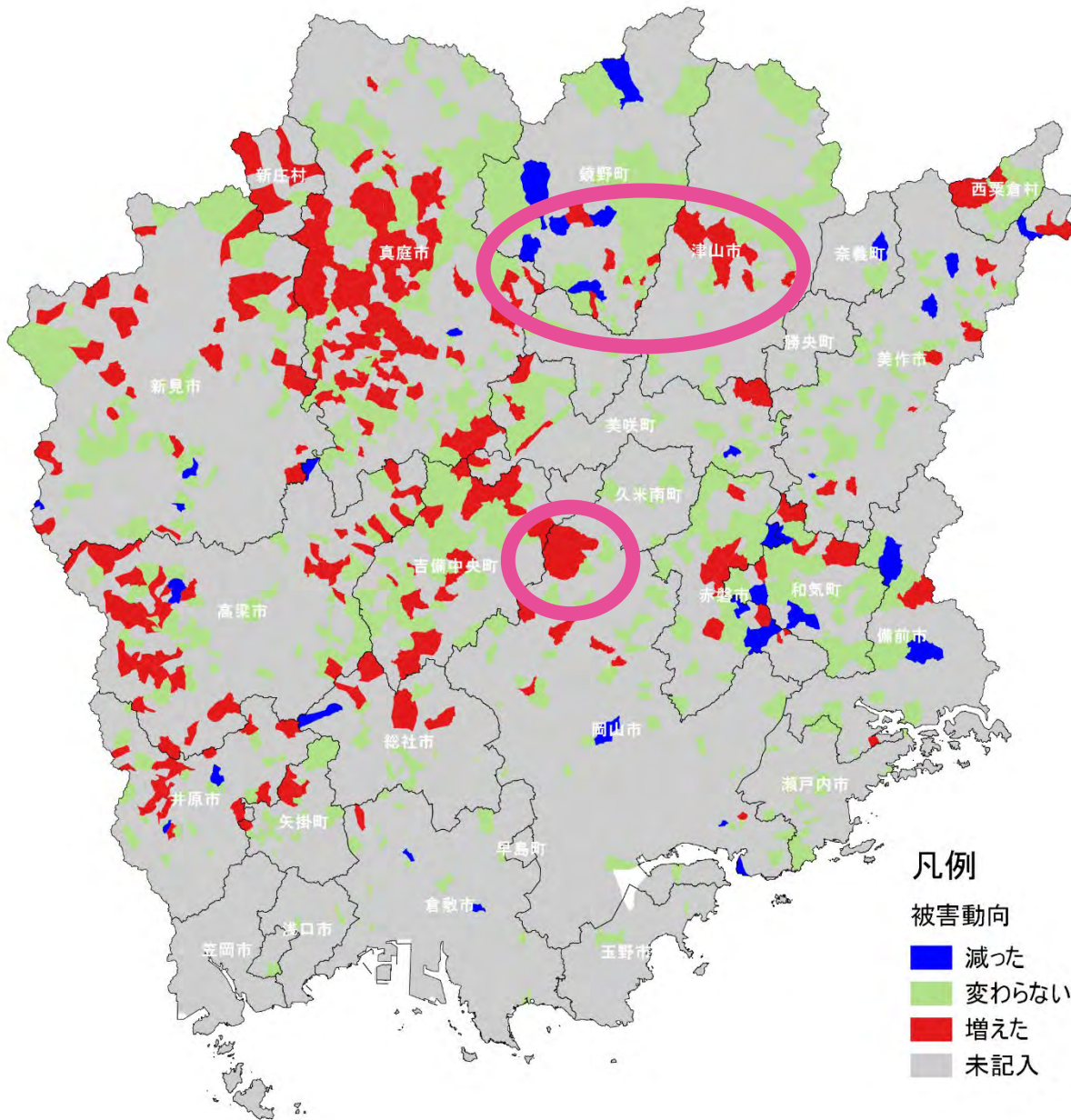
## 凡例

R1サル被害程度

- ほとんどない
- 軽微
- 大きい
- 深刻
- 未記入



# サルの被害レベルの動向



☑ 被害増加

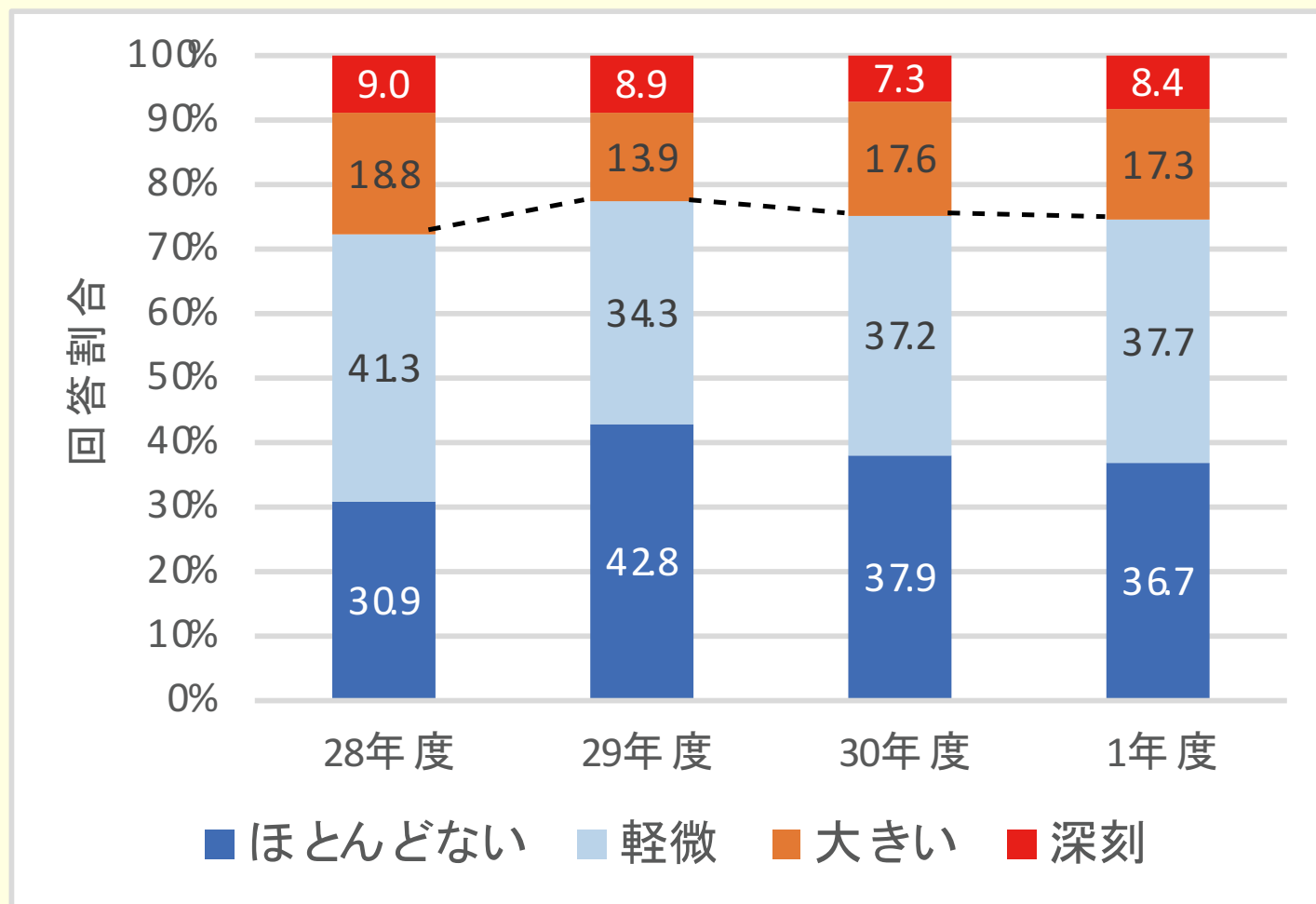
群れの加害群度による

## 凡例

被害動向

- 減った
- 変わらない
- 増えた
- 未記入

# サルの被害レベル 年推移

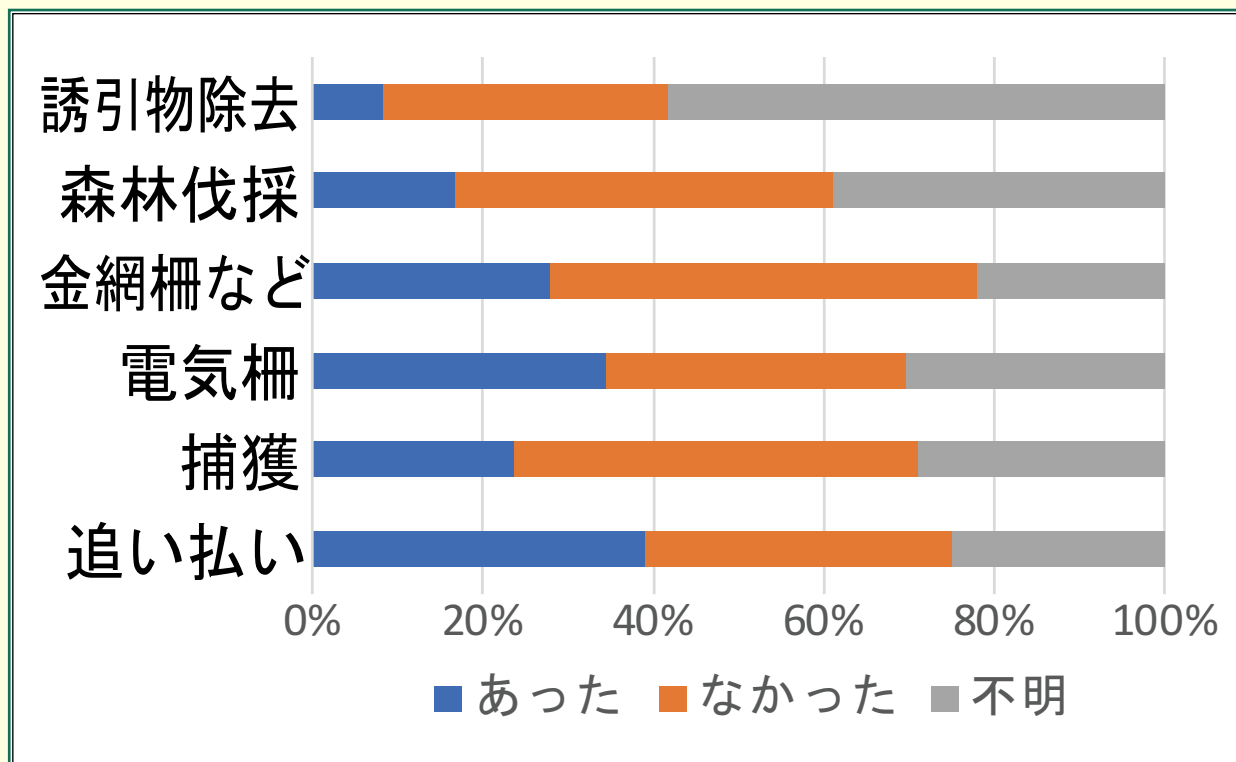


3割弱( 27.9%, 236件/1,065件)で被害深刻化  
28年以降、深刻化している集落割合は横ばい

# サルの対策効果



対策効果割合：繁殖定着している集落（「子連れ」＝群れの生息集落）において、対策効果に記載があった回答における効果が「あった」割合



対策効果が「有」という回答は少ない。

現在、県で実施している効果的な対策手法の研修や、集落ぐるみでの対策実施など、効果の高い対策の実施が必要



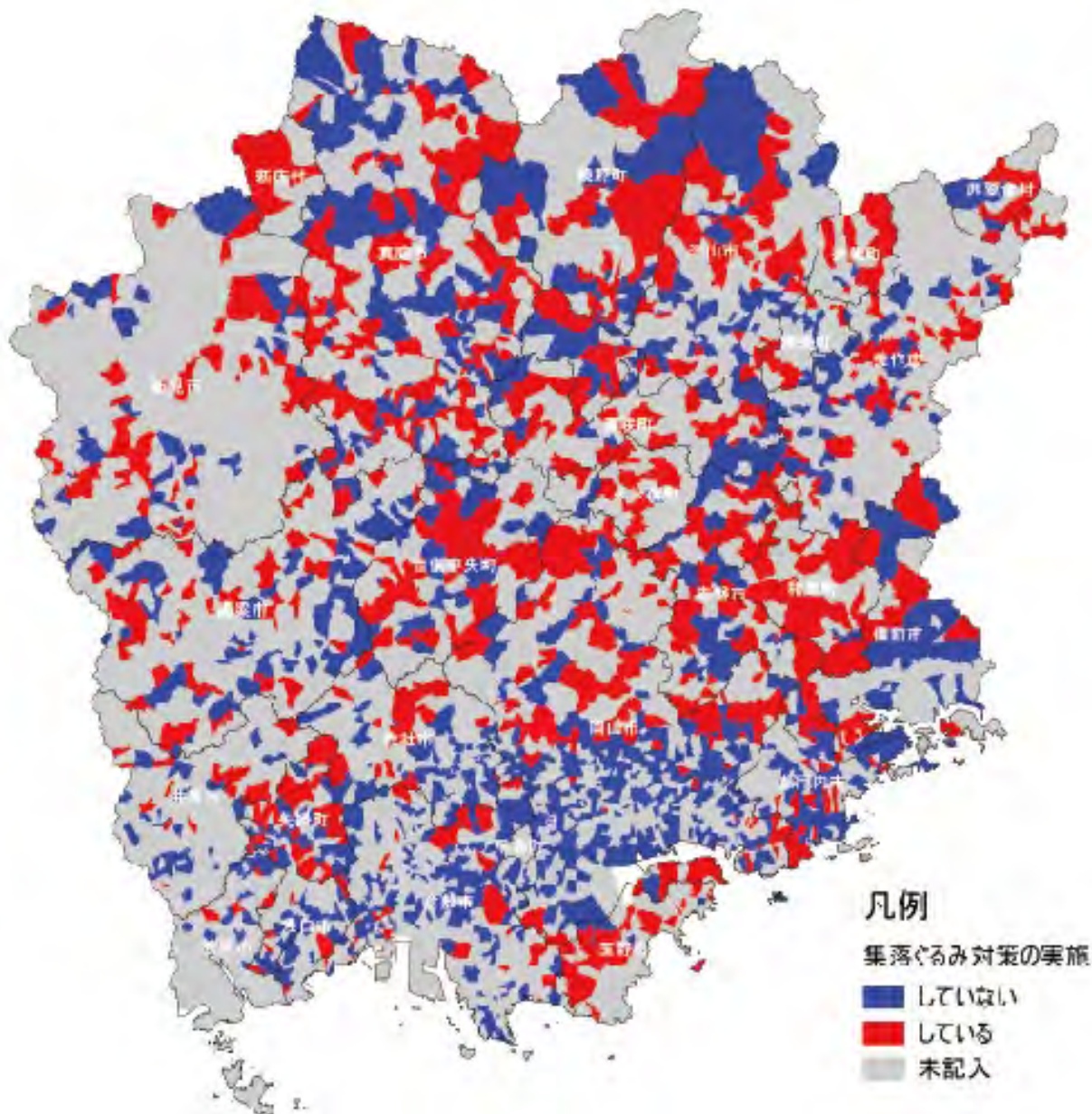


# 集落ぐるみでの対策

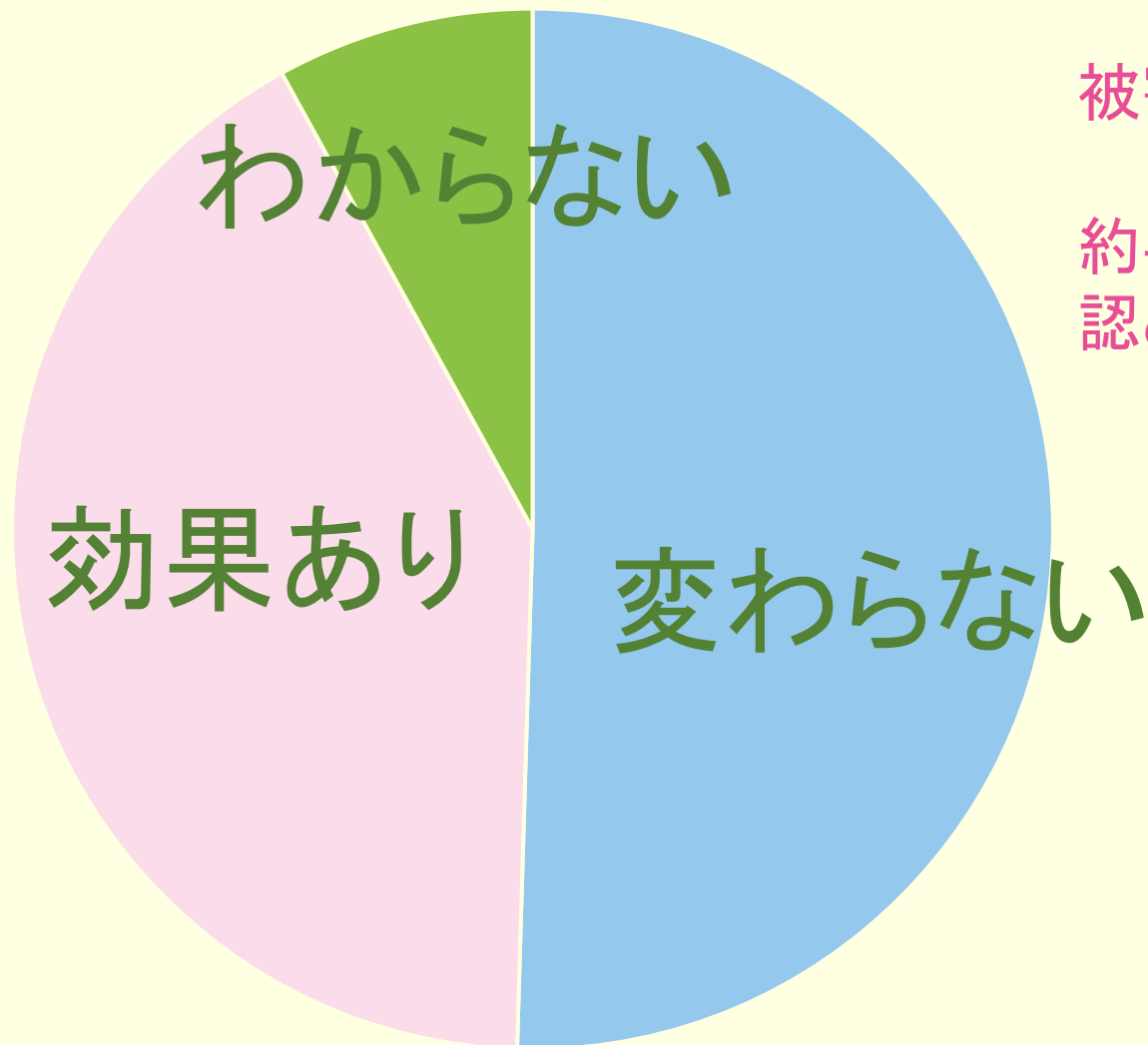


集落ぐるみ対策は、

全県で61.7%  
(1,532/2,483件)で  
実施



# 集落ぐるみでの対策



被害減少効果

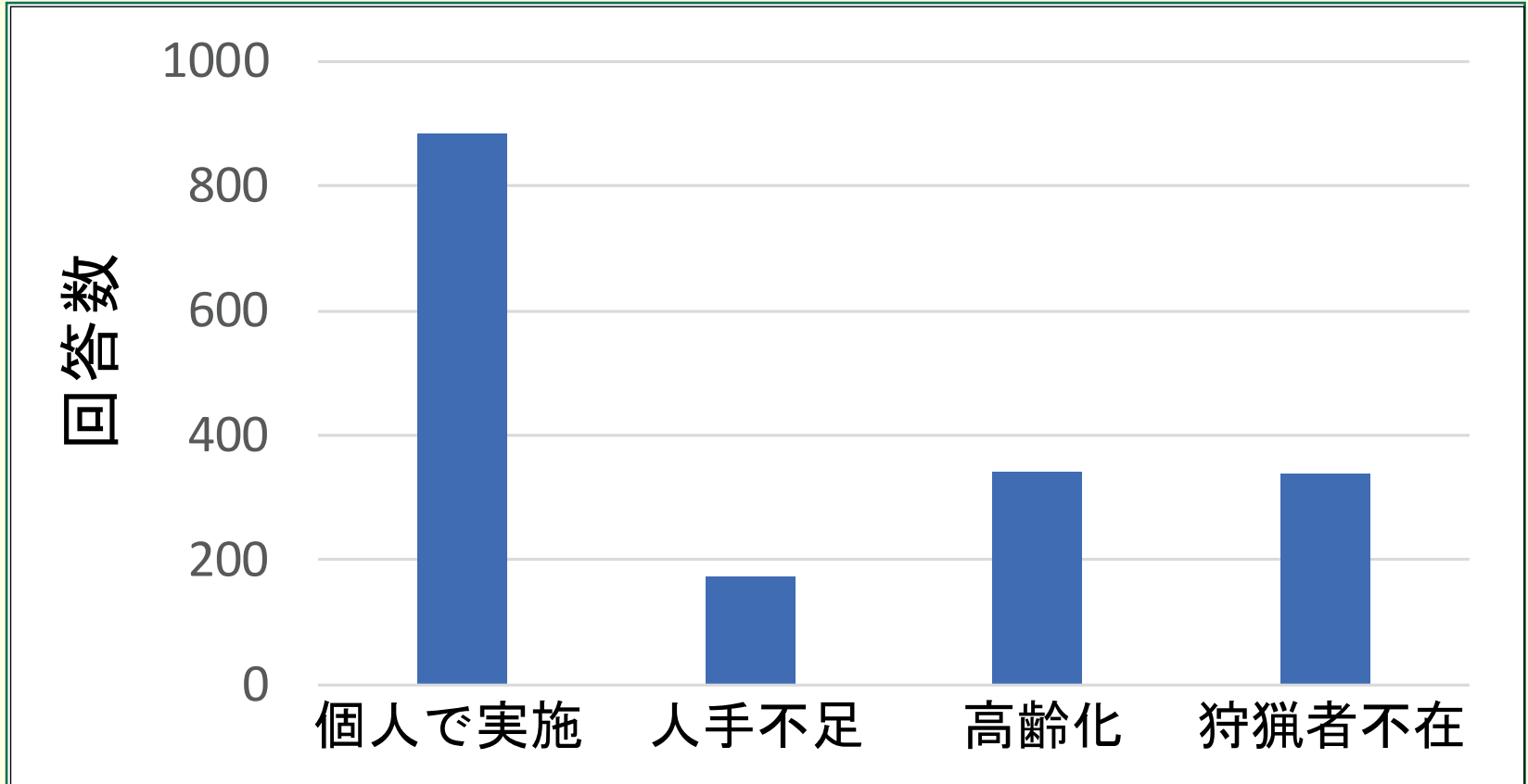
約半数の集落で  
認められた

わからない

効果あり

変わらない

# 集落ぐるみでの対策できない理由





## モデル集落の選定による

### 集落ぐるみの対策促進

- ・選定の際は、害獣が定着繁殖しているにもかかわらず、対策されていない集落を中心に行う

## 対策効果の向上支援

(1) 集落環境診断会の開催による合意形成と

対策意識向上

(2) 効果的な対策手法の研修・技術支援